

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	作業センター所長	芳賀 哲夫
都整-41 作業センター事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	作業センター
総合計画上の位置付け		分野	行財政運営	施策の方針
			行財政運営	

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	市民等	道路・河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。		
意図	市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。			
効果	安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口等のデータ	データ区分	データ区分	データ区分	
人口	177,243人	人口	177,464人		/
世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯		
事業の対象者数		事業の対象者数			
運営資源状況	当初予算(千円)	121,189	決算値(千円)	118,077	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	121,189	一般財源	118,077	
人員配置数	28.3	人員配置数	28.3		
人件費(千円)	214,301	人件費(千円)	208,126		
事業経費運営	総事業費(千円)	335,490	総事業費(千円)	326,203	
	市民1人当りの経費(円)	1,893	市民1人当りの経費(円)	1,838	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	要望に対し、未処理補修要望箇所が増加している。
課題解決のために行った平成26年度の取組	より一層の事務効率化を図るとともに、外部委託の積極的な活用を図った。
未解決の課題 新たな課題	経年劣化による舗装や河川・緑地の保全といった要望が増加傾向にあり、さらに職員の高齢化が進んでいることから、要望処理率の低下が懸念される。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △-1. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	道路、河川、緑地等の維持管理は市民の快適かつ安全な生活に不可欠であり、常に市民生活に不可欠であるため。		
総評	道路の交通の安全性の確保、河川・緑地の保全、側溝、管水路のしゅんせつなど、市民の社会基盤の保全をおこなっており、市民生活の安全性、利便性への迅速な対応に努める。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	要望処理率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
作業センターの業務は、修繕要望等に対する処理であるため、その処理率の高さが市民の快適な生活の指標と考えられる。	目標値	95.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	実績値	90.0					
	達成率	94.7%					
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	事務効率化、外部委託の積極的活用などを図り、要望処理率の向上に努める。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---